(令和) 6年 8月 9日： 令和6年度 第1回 技術管理委員会 議題

審議事項

○基準型技術「インシチュフォーム工法」の認定評価

基準型技術の種類	管きよ内面被覆（反転・形成）工法	
工法の名称	インシチュフォーム工法	
申請者	日本インシチュフォーム協会	
申請日	(令和) 2年12月15日	
審査所管部署	管きよ内面被覆工法評価専門部会（建設部部 設計調整課）	
審査目的	管きよ内面被覆（反転・形成）工法の採用を拡大するため、試行認定を受けた本工法について試行工事及び追跡調査を実施し、技術管理委員会が承認した技術評価基準（以下「技術評価基準」という。）を満足しているかを確認した。	
申請内容 (適用範囲)	【記載例】 種 材：A 種材（ポリエステル樹脂＋ガラス繊維） 形成方法：熱硬化方式（蒸気） 適用範囲：本管内径 250mm ～ 450mm ※申請は、700 mmまでだが、試行工事が実施できた最大内径までが正式認定の適用範囲とする。	
審査内容及び結果	【①試行工事】 ・施工性、安全性の確認（施工時間、騒音等） ・出来形の確認（更生材の厚さ、仕上り状況） ・物性試験（曲げ強度、曲げ弾性率）	【①の結果】 ・適合 ・適合 ・適合
	【②追跡調査】 （3か月後、6か月後） ・出来形の確認（更生材の厚さ、仕上り状況）	【②の結果】 ・適合
審査結果	試行工事及び追跡調査の結果が技術評価基準を満足していることを確認できたことから、本工法については、本管内径 250mm～450mm を正式認定とし、本管内径 450mm 超は試行認定を継続とする。	
備 考	・書類審査を経た試行認定は、令和2年度第3回技術管理委員会（令和3年2月18日）において承認された。 （認定通知の日付は令和3年4月20日）	